

現行契約(2024年度まで)の形態での ChemOffice の提供終了と
今後のアプリケーションの提供方法について

(発信：2025年3月)

現在、D3 センターで契約している ChemOffice ですが、開発元の運用方針の変更により、2025年度から提供方法が変更されます。これまで専用の登録サイトに各自で登録を行い、アプリケーションをダウンロードし利用していましたが、2025年度よりこの仕組みが無くなります。

新しい契約では、ChemOffice と SingalsNotebook Standard 版のサービスを統合した Signals ChemDraw として大阪大学テナント（現在の SignalsNotebookStandard テナント）に統合され、大阪大学テナントの管理者が手作業でユーザー情報を登録および削除する形に変更されます。これに伴い、学内へのアプリケーションの配布方法も大きく変更します。

変更点は以下になります。

1. 現在の ChemOffice の契約に基づき配布している ChemDraw 製品は 2025 年 3 月末でサービスおよびサポート終了となります。利用申請、ダウンロード、アクティベーションなどができなくなります。アクティベーション済みのものについては猶予期間が設けられ、2025 年 8 月末まで利用可能な予定です。
2. 新しい契約では研究室単位でユーザーを取りまとめて D3 センターに申請していただく形になります。（現在の SignalsNotebookStandard と同様の運用です。）
大阪大学テナント管理者（D3 センター）が申請をもとにユーザー登録を行います。ユーザーは大阪大学テナントからアプリケーションをダウンロードし、登録されたアカウントでアクティベーションを行います。大阪大学テナント（現在の SignalsNotebookStandard のテナント）に登録があるユーザーは、新たにユーザー登録の必要はなく、そのまま大阪大学テナントを利用できます。
3. Signals ChemDraw には自動的に ChemDraw+(クラウド版)、Signals Notebook Standard Edition の利用権が付与されます。

以上